

製品名: CTLA4 (CD152) (14H2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09507**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50,IF-P 1:200-1:500
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CTLA4
別名	CTLA4;CD;CD152;CELIAC3;CTLA-4;GRD4;GSE;ICOS;IDDM12;
遺伝子 ID	1493.0
SwissProt ID	P16410
免疫原	ヒト CTLA4 の合成ペプチド

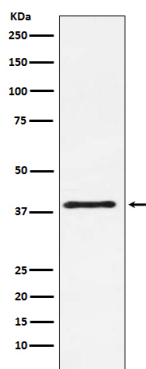
背景

T細胞応答の主要な負の調節因子として機能する阻害性受容体。CTLA4のB7ファミリー天然リガンドであるCD80およびCD86に対する親和性は、それらの同族刺激性共受容体CD28に対する親和性よりもかなり強い。T細胞応答の主要な負の調節因子として機能する阻害性受容体。CTLA4のB7ファミリー天然リガンドであるCD80およびCD86に対する親和性は、それらの同族刺激性共受容体CD28に対する親和性よりもかなり強い。

研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;T細胞受容体;自己免疫甲状腺疾患;

画像データ



NIH/3T3 細胞溶解物中の CTLA4 (CD152) 発現のウェスタン ブロット分析。